

本校のイマージョン教育について

TGUISS's Immersion Education

イマージョン委員会

秋山寿彦 内野浩子 上木多加志 齋藤淳一

要旨

本校では開講以来、社会科、数学科、理科など英語以外の授業を英語で学ぶ「イマージョン(IM)授業」を開講し、教科内容に関して英語で学習・発表し、最終的にはディスカッション能力の育成を目標とするIM授業をとおり英語を中心とした様々な言語やコミュニケーション手段を使って自らを表現し、様々な問題を英語で議論できる学習者の育成を目指している。本稿では今年度の取り組みについて紹介する。

イマージョン(IM)授業について

IM授業の趣旨

本校ではIM授業を英語のみで行う英語以外の授業と定義し、外国語を学ぶ授業とは性格の異なる科目として位置づけている。したがってIM授業は基本的に外国語科の授業ではなく、社会、数学、理科の各教科が担う授業である。加えてIM授業は教科の垣根を越えた学際的な色彩を持つことから、教科間連携を視野に入れ、開講している。5学年開講国際教養群の科目は「多様な人々と英語で議論できる生徒を育成する」ことを目指しており、IM授業はその一端を担うものになっている。現在は第3学年から全員が社会・数学・理科の授業を英語で行う授業であるIM授業を必修として学び、さらに希望者は4年時以降はそれぞれの科目を年間を通して履修することが可能である。このような特徴を持つIM授業を選択する生徒のために、外国語科ではコミュニケーション力の育成をめざすカリキュラムによる授業を展開している。IM授業は教科内容が深化すればするほど、高度な英語力を必要とする。聞く、話す、読む、書くといった4技能のみならず、国際教養群の目的とする英語で考え、議論し、課題を追求する能力も必要になってくる。また授業で展開されていること全てが分からなくても自分の持つ「学習資源を総動員して」授業に臨む精神的なタフネスも必要になってくる。そのため、第1学年から年間数回の授業を英語で行うプレ・イマージョン(プレIM)授業も社会、数学、理科、情報の分野において行っている。

イマージョン授業の取り組み

本校ではIM授業を第3学年に必修科目として設置し、1年間にIM数学、IM理科、IM社会I、IM社会IIの4分野を下表のように4クラスのローテーションで学習する。また第4学年にはIM数学(2単位)、IM社会(1単位)、IM理科(2単位)を開講しており、今後、学年進行に伴い、第5学年以降にもさまざまなIM授業を開講予定である。IM授業での学習を通して生徒には日常会話での英語の流暢さにとどまらず学習言語能力やディスカッション能力も身につけるという狙いがある。

表 1. 3 年次のイマージョン授業

Term	1 学期		2 学期	3 学期
IM.a	Science	Social Studies I	Social Studies II	Math
IM.b	Social Studies I	Science	Math	Social Studies II
IM.c	Social Studies II	Math	Science	Social Studies I
IM.d	Math	Social Studies	Social Studies I	Science

表 2. 2012 年度 4 年次以降の IM 授業実施教科一覧

科目名	学年	単位数	内容	使用テキスト
IM 数学 4 β	4 年	2 単位	高校「数学 A」で学習する内容	TGUSS Mathematics 4
IM 理科	4 年	2 単位	高校「理科総合 A」で学習する内容	GCSE Higher (Oxford press)
IM 世界史	4 年	1 単位	19 世紀の諸革命	独自教材使用
IM 生物	5 年	2 単位	遺伝子の機能と生物の多様性まで	独自教材使用
IM 世界史	5 年	2 単位	20 世紀の世界史	独自教材使用
IM 数学 5 β	5 年	2 単位	高校「数学 B」で学習する内容	独自教材使用
IM 政治経済	6 年	2 単位	政治経済に関するテーマ史	独自教材使用

プレ・イマージョン（プレ IM）授業の取り組み

海外教育体験のない生徒がいきなり、IM 授業に参加するのはかなり困難を極めると想定される。そこで第 1 学年、第 2 学年においては数学、理科、社会、情報の授業で学期に 1 回程度、プレ IM 授業を実施している。日本語での既習事項をもとにした生徒の直感力と協力、また教師側の創意工夫がプレ IM 授業の醍醐味である。以下に 2012 年度の実施例を示す。

表 2011 年度プレ IM 授業実施教科一覧

科目名	学年	内容	授業者
プレ IM 美術	3 年	オートマテイク・テクニクスを用いた技法や表現例に関してクイズ形式での学習や発表。	スティーブン・プラット (外国語科) 嶽 里永子 (芸術科)
プレ IM 数学	2 年	不変量を用いた不可能性の証明※	坂内真三（数学科） 本田千春（数学科）

※Three witches are hovering in mid-air on a broom stick, always keeping at the same height. At every instant, only one of them can move; she can go as far as she wants, but only in a direction parallel to the line connecting her two sisters. If they start in a position where the second witch is 2 miles north of the first witch and the third which is 4 miles east of the first witch, is it possible after some time they will end up in a position where the second witch is 3 miles northeast of the first, and the third witch is three miles southeast of the first? (A Decade of the Berkeley Math Circle: The American Experience, Volume I" ISBN 978-0-8218-4683-4, Session 5, Problem 6 より抜粋)



プレイマージョン美術 (第3学年対象)

最後に

イマージョンプログラムは未習得の言語を身につける学習方法の一つである。本校では、社会、数学、理科の3教科の一部のクラスで英語 IM を導入し、模索、実践している。また来年度以降は芸術科（美術）も加えた形で構成することになっている。IM 授業では通常の外国語教育では到達することのできない認知・学習面の語学力も習得できると考えられている。また海外大学への進学準備にもなると考えられる。今後、いくつかの課題を克服しつつ、さらに IM 授業の充実・発展に努めるとともに、IM 授業の実施効果に関する検証を行っていきたい。

TGUISS's Immersion Education

Since its inception, TGUISS has provided “immersion (IM) lessons,” teaching non-language subjects, such as social sciences, mathematics and natural sciences, in English. The ultimate objective of this practice is to develop the discussion skills of students, who learn these subjects and deliver presentations in English. Through these lessons, we aim at developing learners who can express themselves in various languages, especially English, with the help of other communication tools, and discuss a range of issues in English. This paper outlines our initiatives for the current school year.